気仙沼市

pressrelease

記者会見資料
令和２年３月２４日（火）
震災復興・企画部地域づくり推進課
（協働・交流促進係）
担当：菅原（22-3409）

中国浙江省舟山市より 医療用マスクが寄贈されます

■ 本市の友好都市である中国浙江省舟山市より，医療用マスク 2 万枚が寄贈されます。

■ マスクは，東京にお住いの「日本舟山人会」会長の徐静波氏（（株）アジア通信社　代表取締役社長）が，人民政府を代表して市役所にご持参されます。

■ 寄贈された医療用マスクは，気仙沼市立病院や市立本吉病院をはじめ，市内医療機関等で活用させていただく予定です。

■ 贈呈式：令和 2 年 3 月 26 日（木）　16 時 30 分～　応接室

■ 舟山市より送られた医療用マスクを，当日，徐氏が車で気仙沼市役所までご持参されます。

【中国浙江省舟山市】

昭和 61 年 3 月に気仙沼漁業協同組合の視察団が漁場開発などを目的に舟山市を訪問したことがきっかけで市民レベルでの交流が行なわれていたことから，平成 9 年 10 月 8 日に友好都市協定を締結しました。

舟山市とは，震災前に本市から 3 回の公式訪問団の派遣，舟山市から 4 回の公式訪問団の受入れ，また，平成 22 年には市内の中学生 20 名が舟山市を訪れホームステイをするなど交流を深めてきました。

東日本大震災の際は，110 万元（日本円で 1,360 万円）のご寄付をいただき，水産業の復興や被災者の生活再建に資する事業など，復興事業に活用させていただいております。

震災後の交流は，日本の年賀・中国の春節のあいさつのみにとどまっておりますが，今後は，人の往来などを含めた友好関係が一層発展するよう交流を深めてまいりたいと考えております。